

学校の教育目標：「自他を大切にし、共に伸びる児童の育成 ～元気・笑顔・成長～」

相良村立相良南小学校だより

校訓「やさしく かしこく たくましく」



「元気・笑顔・成長」南小

第3号 令和5年5月18日発行

発行者 校長 田口広治

児童数 173
PTA数 127

さがらっ子集会～「健康教育」取組推進

■5月9日（火）さがらっ子集会を行いました。

まず、企画集会委員会の発表です。テーマは「健康」で、クイズ形式での発表です。

第1問「健康な人とはどんな人でしょう？」

A：心が元気な人 B：体が元気な人 C：頭が元気な人

「正解は、全部です」と正解発表があると、嬉しそうな声が上がります。

体の健康では、「雨が降っても元気に歩いてきましょう」との呼びかけもありました。

第2問「頭を健康にするには何をすればいいでしょう？」

A：進んで発表 B：自分の考えを友達に伝える C：友達の発表をしっかりと聞く

これも全部正解だとのことですが、聞くだけだと5%の理解、教えたり考えを伝えたりすると95%理解できるとの話をしてくれます。アウトプットが大事ななのでしょう。

第3問「心を健康にするには〇〇〇〇をたくさん言いましょう。何でしょう？」

子供たちから「ありがとう」という声が出ます。正解です。

大切なことを分かりやすく、しかも楽しい発表をしてくれました。

■次に、3つの委員会の委員長さんから健康に関する取組について発表がありました。

保健委員会ではテーマを「元気をみんなにひろげよう」として取り組んでいくとのこと。

体育委員会では「ストレッチ」を全校体育で行うとのこと。

放送委員会では「健康の部屋」としてゲストに話をしてもらおう放送をするとのこと。

他の委員会でも「健康」に関する取組を進めていくことになっています。

■さらに、長谷先生から健康教育の研究や取組についての話です。

体の健康では「ストレッチタイム」「命の学習」「薬物乱用防止教室」などがあります。

心の健康では「自分が好き」「自信がある」「目標がある」ようになってほしいです。

頭の健康では「進んで学習」「友達との対話」「ノートコンクール」などやっていきます。

様々な取組をとおして「思いやりの心」「対話する力」「チャレンジする態度」を身につけていきたいと思いますとの話がありました。

■先日のPTA総会で11月7日健康教育研究発表会のことを話しましたが、子供たちと先生たち、保護者の皆様、地域の方も含めて取組を進めていきたいと思えます。ぜひ「チーム南小」の一員として、ご協力をお願いします。みんなで子供たちや私たち自身の健康の保持増進につなげていきたいと思います。



5年「水俣学習」「集団宿泊教室」

■5月11日(木)～12日(金)に、5年生が相良北小と合同で「水俣に学ぶ肥後っ子教室」「集団宿泊教室」に行きました。

まずは、「環境学習」です。「エコショッピング」の体験や「SDGs」の講話がありました。子供たちは反応よく聞いており、楽しみながらも環境について考えることができました。

午後から、「水俣病学習」です。語り部さんの講話はインタビュー形式で進められました。子供たちは一生懸命話を聞き、患者さんの思いを受け止め、また今後の自分たちの行動につなげようと考えていました。

■その後、移動して、あしきた青少年自然の家での「集団宿泊教室」です。夜には「ナイトゲーム」、2日目は「マリン活動」としてペーロンや磯遊びを行いました。最後の活動は「フォトウィークラリー」です。活動の主な目的は「自然に触れること」と「班で協力すること」です。活動をとおして、これらが達成できるようにしていきます。

芦北には、相良村とは違う「海」という自然があります。子供たちは、海の音や磯の香りを感じていました。また、普段の生活では林の中を散歩することが少ない子供もいます。子供たちは自然を満喫することができたようです。

「班での協力」もよくできていました。班でまとまって行動したり、遅れそうな人に声をかけたりしながら活動していました。食事や部屋での生活など、役割をきちんと行っていました。これも大切な「協力」です。

■最後に、「2日間よく頑張りました。しかし2日間だけはよく頑張ったではいけません。ぜひ今後の生活に活かしてください。学びを深めてください」との話をしました。

行事の成果が、その後の子供たちの成長につながるようにしていきたいと思います。



相良南小学校HP
もどうぞご覧ください。

「全校体育」スタート～ストレッチタイム

■5月16日(火)が全校体育の初日でした。縦割り班での活動になります。

まずは、班ごとに輪になって自己紹介です。あちこちから、大きな声と拍手が聞こえてきます。

続いて「ストレッチ」です。昨年度の体力テストで「柔軟性」の結果がよくなかったため、取り入れられています。短い時間ですが、続けることが大切です。家庭でも、子供さんと一緒にストレッチ、どうでしょうか。

